

相模原市広域交流拠点のまちづくり 市民説明会

次 第

- 日 時： ①平成28年7月13日（水）
②平成28年7月16日（土）
各日午後7時から
- 場 所： ①市民会館 ホール
②杜のホールはしもと ホール

- 1 開会、あいさつ
- 2 広域交流拠点のまちづくりについて
 - (1) 相模原市都市計画マスタープラン一部改定版（案）等について
 - (2) 相模原市広域交流拠点整備計画（案）について
- 3 質疑応答
- 4 閉 会

* 配布資料

- ・ 次第
- ・ 相模原市都市計画マスタープラン一部改定版（案）について
- ・ 相模原市総合都市交通計画一部改定版（案）について
- ・ 相模原市広域交流拠点整備計画（案）について

相模原市都市計画マスタープラン一部改定版（案）について

1 一部改定の背景と目的

本市では、都市づくりの総合的・体系的な方針である「相模原市都市計画マスタープラン」（以下「都市計画マスタープラン」という。）を平成22年3月に策定しました。

都市計画マスタープランでは、リニア中央新幹線の構想などを踏まえ、橋本駅周辺及び相模原駅周辺の一体的なエリアを「首都圏南西部における広域交流拠点」として位置付け、これに基づき、相模総合補給廠の一部返還に向けた活動やリニア中央新幹線神奈川県駅の市内への誘致活動と併せて、平成24年2月から、市民や交通事業者などとともに、「広域交流拠点基本計画(平成26年6月)」の策定など、その形成に向けた取組を進めてきました。

その後のリニア中央新幹線神奈川県駅の設置計画の公表や相模総合補給廠の一部返還など本市を取り巻く社会・経済状況などの変化を踏まえ、都市計画マスタープランの一部改定を行います。

2 一部改定の対象区域

広域交流拠点基本計画で対象としている橋本駅周辺及び相模原駅周辺の一体的なエリアとします。

なお、その他の区域については、次期全面改定のスケジュールに合わせて見直すこととします。

3 計画の目標期間

現行計画の目標期間と同様とし、平成31年度までとします。

4 主な改定項目

- (1) 現行の都市計画マスタープランのうち、「V 全体構想」の「4 都市づくりの方針」における「4-2 都市力を高める都市づくりの方針」の一部を改定します。
- (2) 「VI 地域別構想」について、橋本駅周辺及び相模原駅周辺の一体的なエリアを「広域交流拠点の都市づくり方針図」（裏面に記載）により示します。

5 今後のスケジュール

平成28年 6月～	パブリックコメントの実施 (意見募集期間：6月15日から7月22日まで)
7月	住民説明会
8月	都市計画審議会
8月	一部改定

広域交流拠点の都市づくり方針図

広域交流拠点編を追加する一部改定に当たっては、「VI 地域別構想の地域づくり方針図」について、現行の都市計画マスタープランの橋本地区と小山地域の地域づくり方針図を「広域交流拠点の都市づくり方針図」として一つにまとめ、朱書き及び凡例(追加)部分を追加することにより示します。

橋本駅周辺での高次都市機能の集積による都市づくり
 駅周辺区域への商業・業務機能、情報発信機能、産業交流機能の導入や公共交通の利用促進に向けた交通基盤の整備

広域交流拠点にふさわしい多様な都市機能や交通機能の充実
 環境負荷の低減や都市の顔としての景観形成

JR横浜線の連続立体交差化の橋計

(都) 宮下横山台線の延伸 多摩方面との連携

小田急多摩線の延伸に向けた取組

共同使用区域のスポーツ・レクリエーションや防災活動の場としての活用
 相模原駅周辺での高次都市機能の集積による都市づくり
 駅周辺への広域商業機能、広域交流機能、業務・行政機能などの導入や公共交通の利用促進に向けた交通基盤の整備

道路網の充実

広域交流拠点にふさわしい多様な都市機能や交通機能の充実
 環境負荷の低減や都市の顔としての景観形成

職業能力開発総合大学校 相模原キャンパスの跡地の活用を図る



凡例	沿道の土地利用を誘導する地区
低層住居系用途地域	緑道・自然歩道
中高層住居系用途地域	中心市街地
商業系用途地域	都市計画道路
工業系用途地域	道路(橋) 道路(橋)
市街化を抑制する地区 (市街化調整区域)	その他幹線道路
主な緑地・大規模公園	公共交通の充実候計
その他公園・広場等	軌道の延伸
凡例(追加)	道路(橋) 道路(橋) 道路(橋)
土地利用を促進する地区	道路(橋) 道路(橋) 道路(橋)
土地利用を規制する地区	リニア中央新幹線

お問い合わせ先

相模原市 都市建設局 まちづくり計画部 都市計画課 042-769-8247

相模原市総合都市交通計画一部改定版(案)について

一部改定の背景と目的

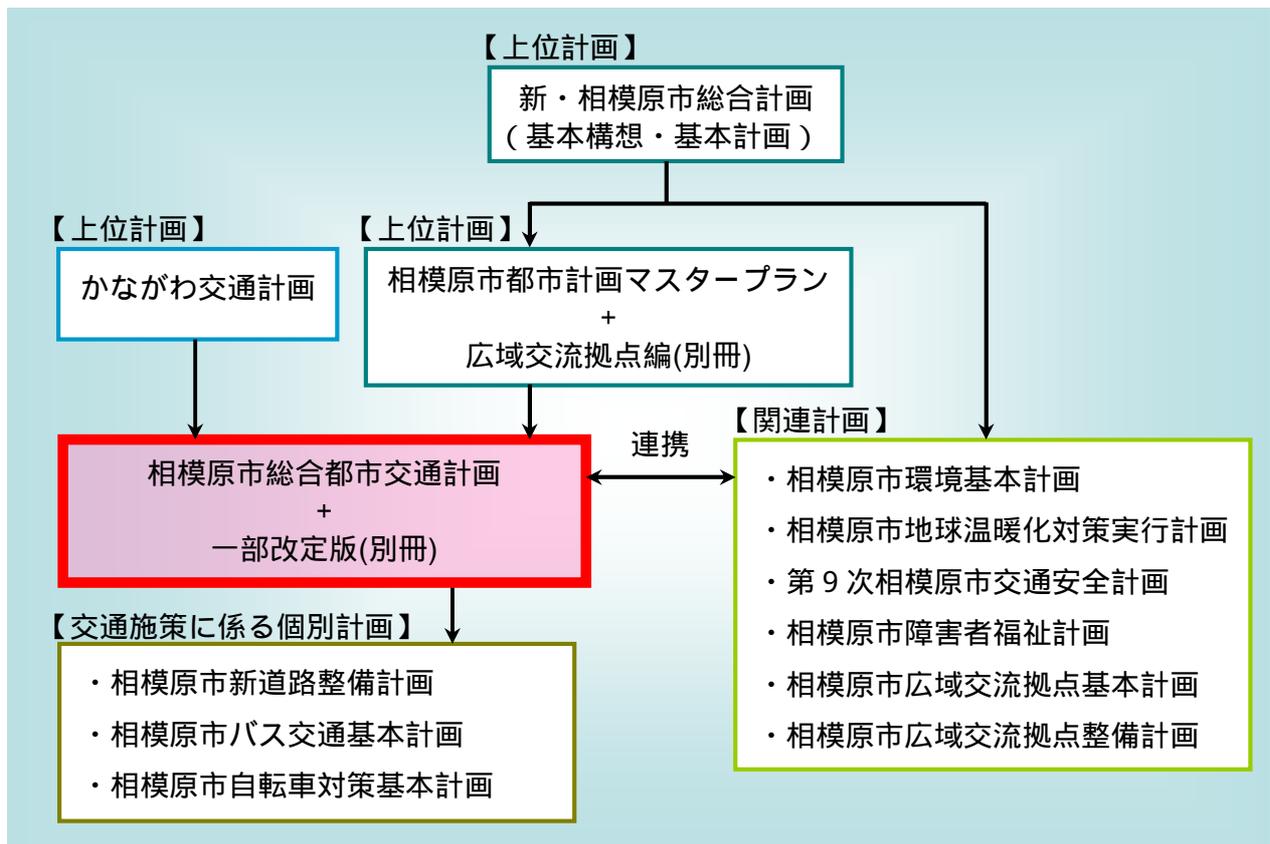
本市では、旧津久井4町との合併による市域の拡大や政令指定都市への移行に加え、リニア中央新幹線の市内駅設置や小田急多摩線の延伸促進への取組、さがみ縦貫道路の整備など、市の交通を取り巻く状況の変化を踏まえ、平成24年3月に計画期間を10年間として「相模原市総合都市交通計画」を策定しました。

その後、さがみ縦貫道路の開通、リニア中央新幹線の神奈川県駅設置、相模総合補給廠の一部返還など、大規模なプロジェクトが進展し、本市の広域交流ポテンシャルが拡大してきたことを踏まえ、首都圏南西部の広域的な視点から本市の都市力向上を目指す方策として、平成26年6月に「広域交流拠点都市推進戦略」及び「相模原市広域交流拠点基本計画」を策定し、さらには橋本駅周辺及び相模原駅周辺の一体的なエリアにおける同整備計画の策定に向けた取組及び具体的な整備内容の検討を進めています。

このため、これらの社会・経済状況の変化を踏まえ、広域交流拠点における要素を追加する一部改定を行うものです。

計画の位置づけ

本計画は、「新・相模原市総合計画」と「相模原市都市計画マスタープラン」や「かながわ交通計画」を上位計画とし、将来の都市構造の実現に交通分野から寄与するために、身近な交通環境の充実や広域的な交流機能の向上を図る「将来の交通のすがた」と、その実現に向けた施策目標、事業、計画の進め方を示します。



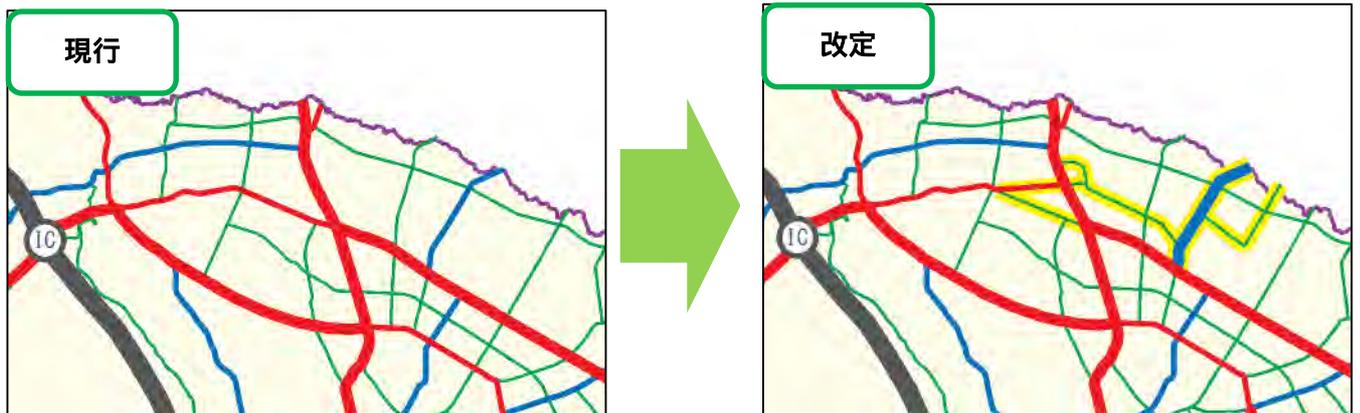
本改定の内容

本改定は、現行の相模原市総合都市交通計画のうち、「3章 基本計画」の「3.5. 将来の望ましい交通体系」の一部を改定するものであり、広域交流拠点基本計画で対象としている橋本駅周辺及び相模原駅周辺の一体的なエリアを対象とした「広域交流拠点の都市づくり方針図」に基づき、幹線道路ネットワークの改定を行うものです。



図 幹線道路ネットワーク(改定)
黄色線が変更箇所

変更箇所拡大



今後のスケジュール

平成28年 6月～ パブリックコメントの実施
(意見募集期間：6月15日から7月22日まで)
7月 住民説明会
8月 一部改定

お問い合わせ先
相模原市 都市建設局 まちづくり計画部 交通政策課 042-769-8249

相模原市広域交流拠点整備計画（案）について

1 橋本駅周辺地区整備計画

対象地域

- 橋本駅を中心とする橋本駅周辺地区(約120ha)とする。
- 特に駅南口は、重点的に検討が必要な地区として、平成39年のリニア中央新幹線の開業を見据えたまちづくりを目指す。



1 橋本駅周辺地区整備計画

南口地区における機能配置の考え方と土地利用計画

広域交流ゾーン

駅前広場をはじめとして、公共交通の乗換えのための空間利用が想定されることから、駅北口など、様々な方面からのアクセスに配慮した配置

例：駅前広場、イベントスペース、情報発信拠点など

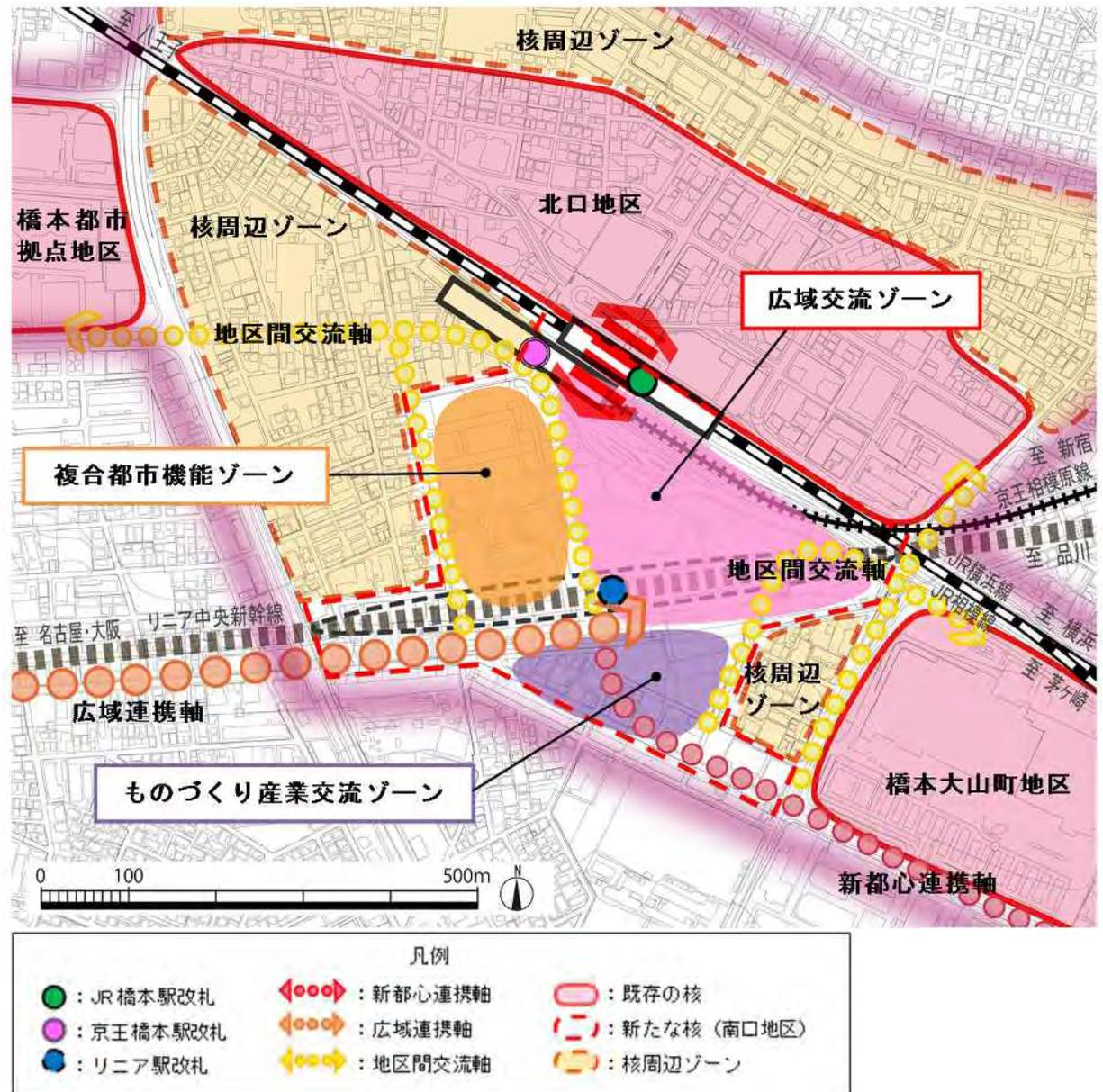
複合都市機能ゾーン

主に生活者や通勤者などの利用が想定されることから、在来線、リニア中央新幹線のいずれからもアクセス可能な配置

例：オフィス、商業、飲食、福祉、医療、まちづくり活動拠点、都市型居住など

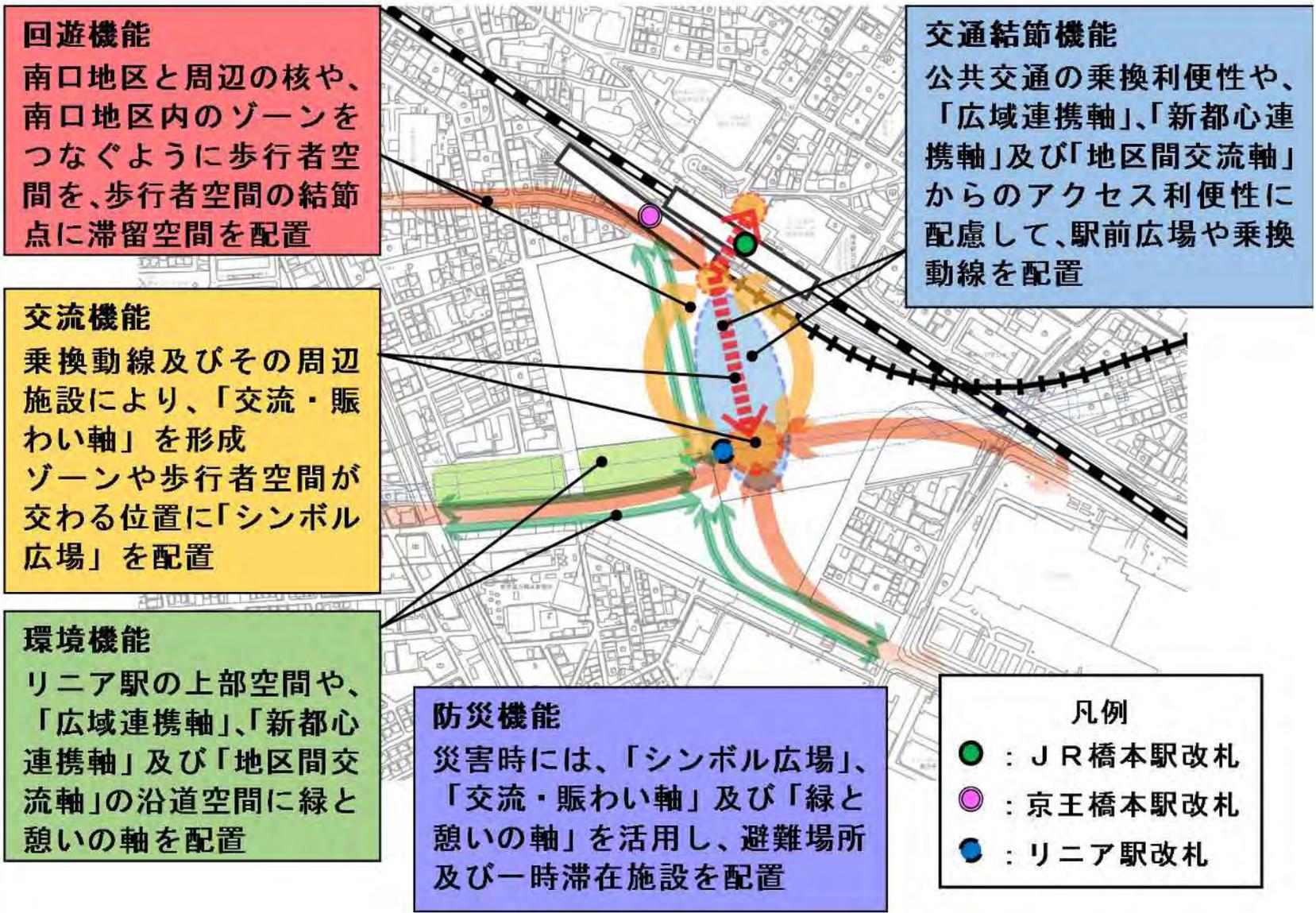
ものづくり産業交流ゾーン

リニア中央新幹線による広域的な来街者による利用が想定されることから、リニア中央新幹線駅に近接し、周辺の産業用地からも利用しやすいエリアへの配置
例：展示場、会議室、インキュベーション（起業支援）、シティホテルなど



1 橋本駅周辺地区整備計画

駅前空間 機能配置方針

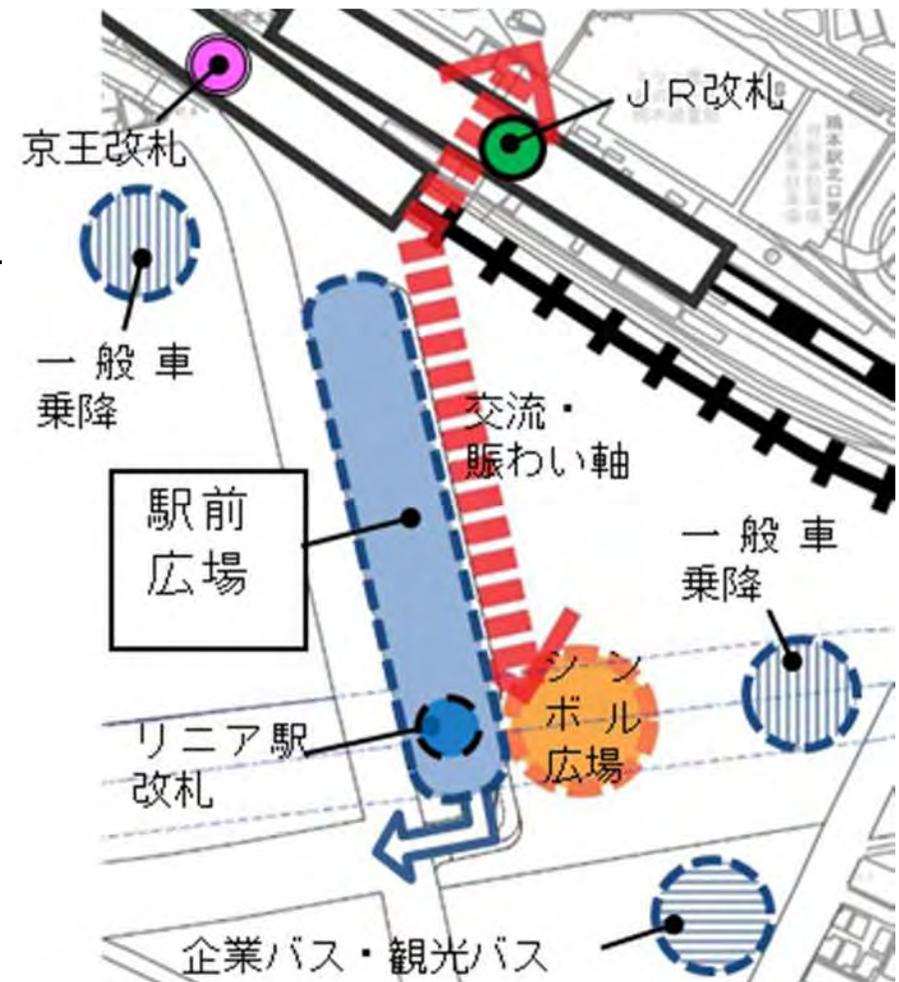


1 橋本駅周辺地区整備計画

駅前広場の配置案

以下の案を基本として、技術的な検証や関係機関との協議を行う。

- 「交流・賑わい軸」の西側に設置
- 在来線と駅前広場のバス等の乗換距離が、現状と概ね同程度
- 「広域交流ゾーン」と「複合都市機能ゾーン」の間に道路や駅前広場があるため、歩行者デッキにて両ゾーンをつなぐなどの工夫が必要
- 「広域交流ゾーン」の区画は、「交流・賑わい軸」に隣接した場所に大きな規模で確保できる。



1 橋本駅周辺地区整備計画

段階的な整備

ア 短期・中期(リニア中央新幹線開業を目途)

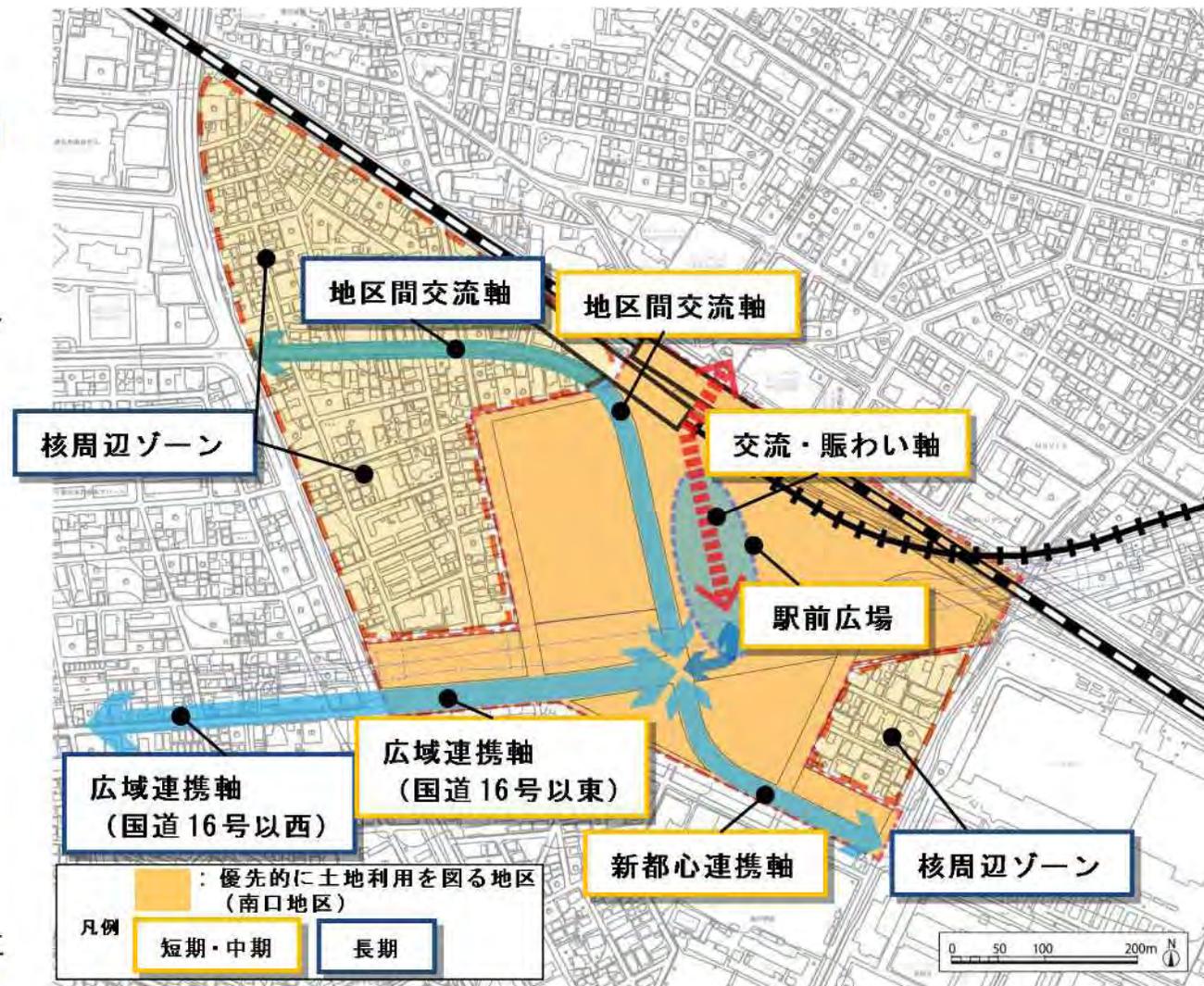
- ・相原高校用地を中心とした「優先的に土地利用を図る地区」においてまちづくりを行う。
- ・整備手法については、街路事業と土地区画整理事業を中心に検討を進める。
- ・土地利用は、都市基盤整備をまちづくりのスタートとして、民間事業者を中心に都市機能の集積を図る。

<整備内容>

- ・駅前広場
- ・「広域連携軸」(国道16号から駅前広場へのアクセス道路)
- ・「新都心連携軸」(相模原方面(旭中学校入口)から駅前広場へのアクセス道路)
- ・「地区間交流軸」(現在の相原高校用地内から駅前広場へのアクセス道路)
- ・「交流・賑わい軸」(橋本駅南北の回遊、各交通機能を有機的に結ぶ通路)

イ 長期(リニア中央新幹線開業以降)

- ・核周辺ゾーンは、「優先的に土地利用を図る地区」におけるまちづくりの進捗状況等に応じて、民間主導によるまちづくりを促しながら、拠点的市街地の拡大を図る。
- ・拠点的市街地の拡大に際して、必要となる道路を既存道路の拡幅等によって整備する。



1 橋本駅周辺地区整備計画

[京王線駅舎の移設検討]

<京王橋本駅の駅舎移設によるメリット・デメリット>

メリット

- ・最も人の往来が多い在来線駅間の通路が交流・賑わい軸と一致(まちの中に人の流れが生まれる。)
- ・京王線駅からリニア駅までの乗換距離が短くなることで利便性が向上

デメリット

- ・土地利用を図る区域内に駅舎等の鉄道施設が配置されることにより、開発事業者との調整が必要
- ・道路等の整備において調整が必要



京王線駅舎の移設については、土地利用面で検討すべき点があるものの、**リニア駅と在来線間や在来線同士の乗換利便性の向上、駅周辺地区の賑わい形成など、広域交流拠点にふさわしいターミナル機能の強化において、その必要性は高いものと考えられる。**

<京王線駅舎の移設を前提としたまちづくり>

駅周辺のまちづくりに当たっては、駅と街区が融合した「駅・まち一体のまちづくり」を目指し、駅利用者や来街者にとってわかりやすい都市軸(交流・賑わい軸)の形成、街の賑わいや回遊性の向上など、駅移設の効果が発揮されるようなまちづくりについてさらなる検討を進め、首都圏の成長をけん引する広域交流拠点としての魅力を高める。

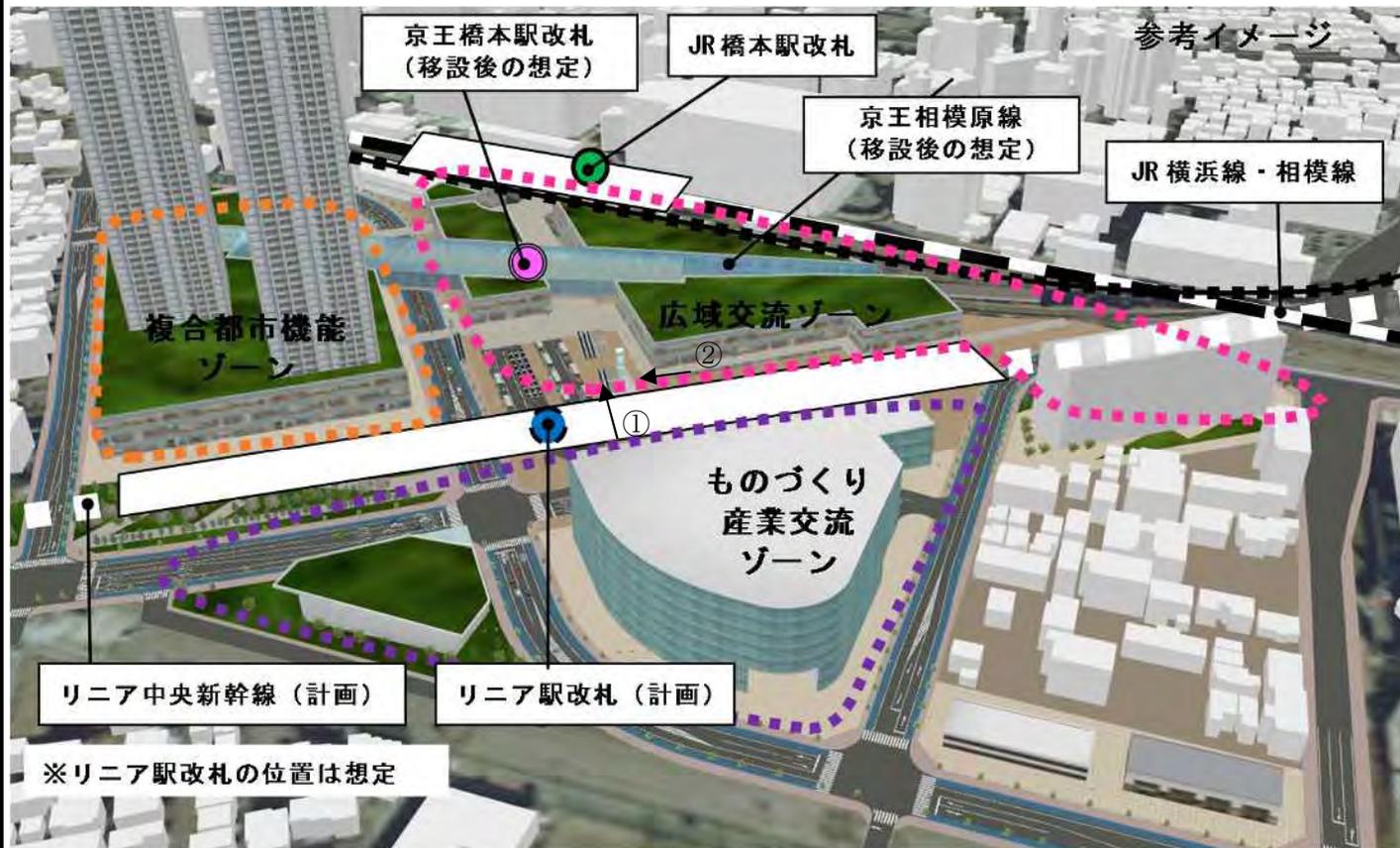
今後、京王線駅舎の移設を前提に具体的な検討を行い、駅移設や「駅・まち一体のまちづくり」の推進に向け、関係機関の役割分担などについて協議・調整を進める。



1 橋本駅周辺地区整備計画

都市の将来イメージ

都市の将来イメージは下図のとおり。施設配置や高さなどは検討中であり、今後変更の可能性がある。



①「交流・賑わい軸」などのイメージ



②「シンボル広場」のイメージ

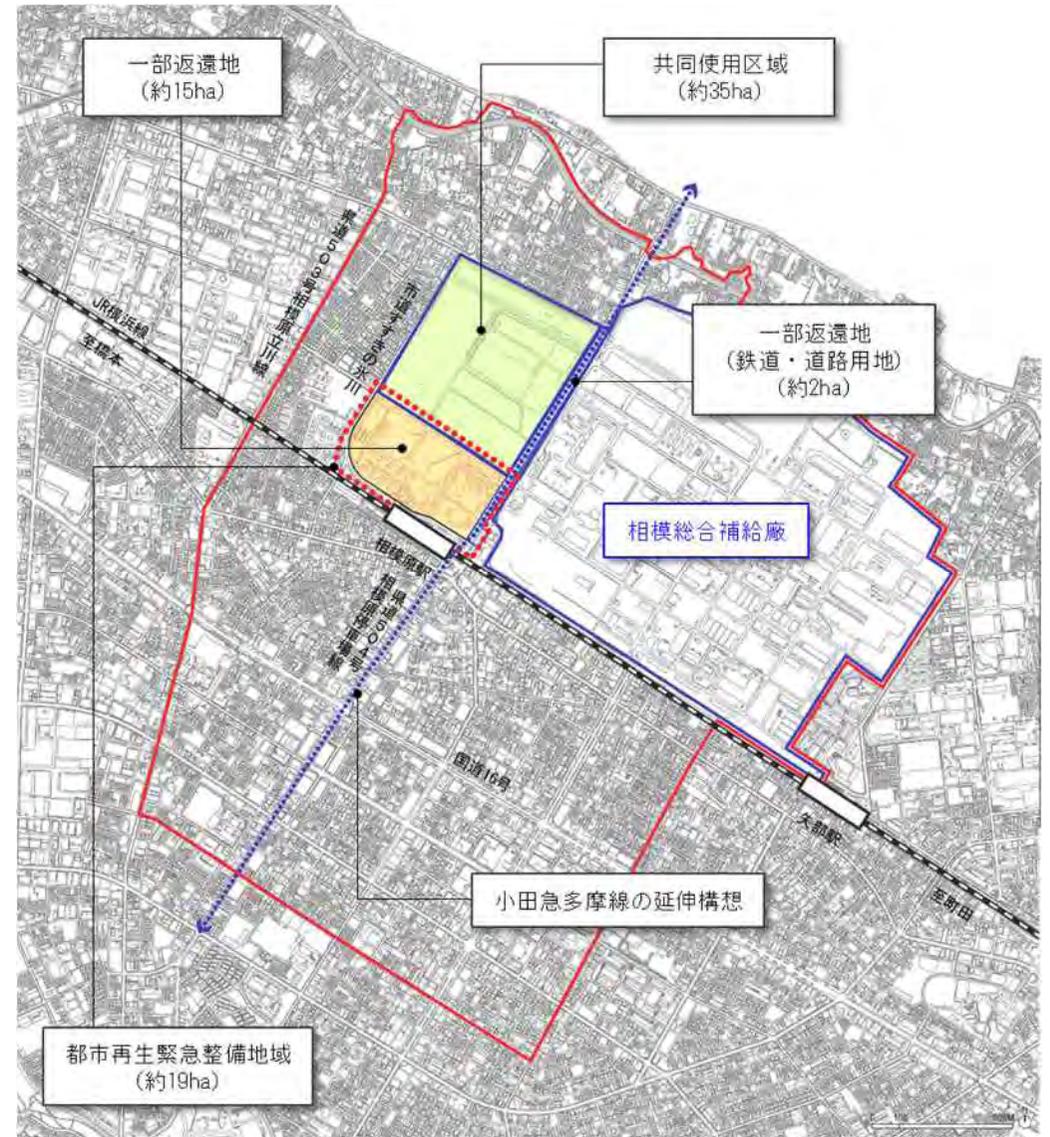
※この図は、平成39年のリニア中央新幹線の開業時点を示すものではなく、駅南口地区の将来のまちづくりのイメージを示したものです。

2 相模原駅周辺地区整備計画

対象地域

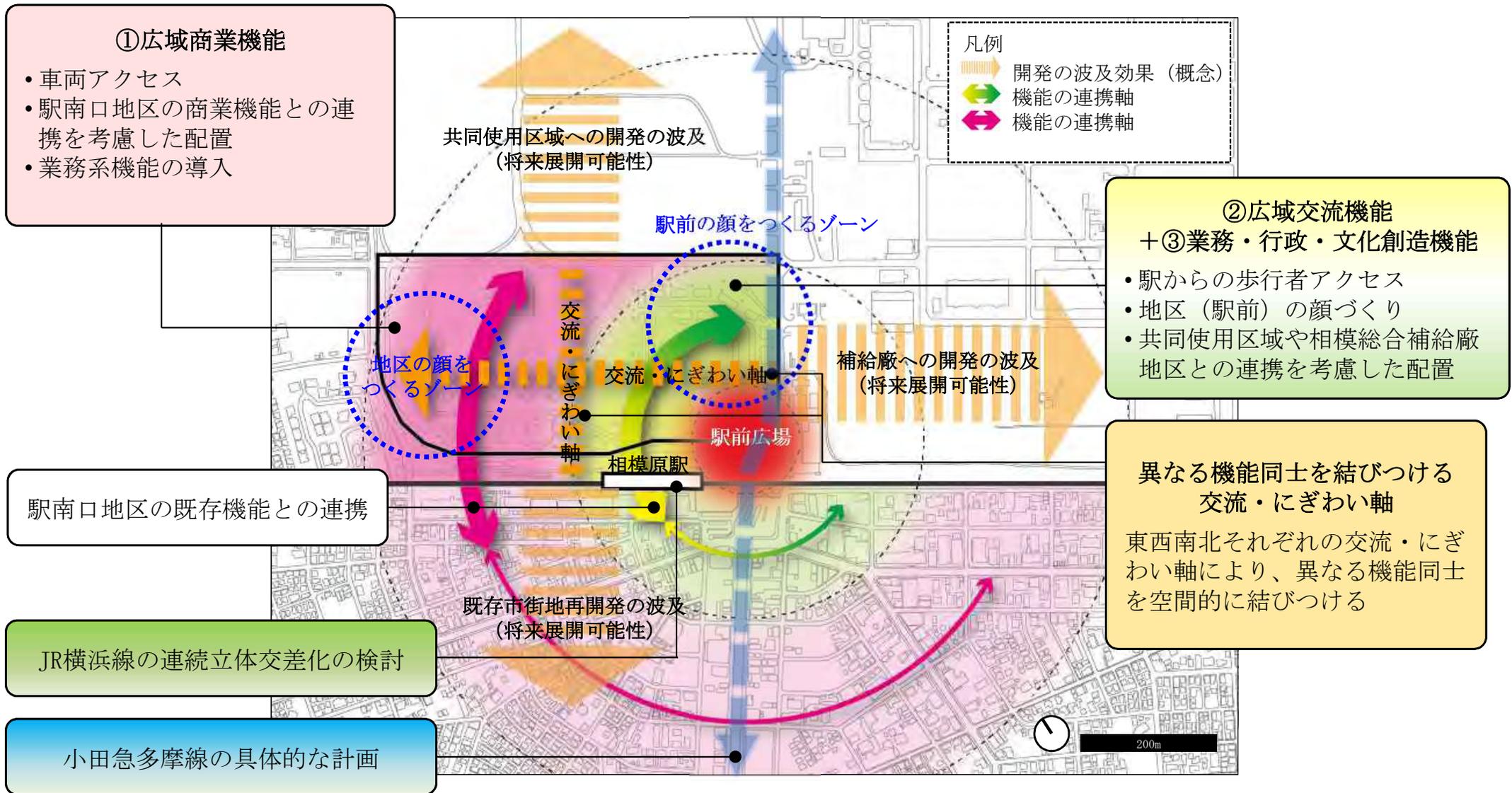
- JR相模原駅を中心とする相模原駅周辺地区(約660ha／右図赤枠内)とする。
- 特に相模総合補給廠の一部返還地(約17ha)については、新市街地の形成により相模原駅周辺地区全体の起爆剤としての役割が期待されることから、優先的に整備・検討を行い、開発の実現を目指す。

凡例	
	相模原駅周辺地区(約660ha)
	相模総合補給廠(約197ha)
	共同使用区域(約35ha)
	一部返還地(鉄道・道路用地)(約2ha)
	一部返還地(約15ha)
	都市再生緊急整備地域(約19ha)



2 相模原駅周辺地区整備計画

土地利用計画



①広域商業機能

- 車両アクセス
- 駅南口地区の商業機能との連携を考慮した配置
- 業務系機能の導入

②広域交流機能
+ **③業務・行政・文化創造機能**

- 駅からの歩行者アクセス
- 地区（駅前）の顔づくり
- 共同使用区域や相模総合補給廠地区との連携を考慮した配置

異なる機能同士を結びつける
交流・にぎわい軸

東西南北それぞれの交流・にぎわい軸により、異なる機能同士を空間的に結びつける

駅南口地区の既存機能との連携

JR横浜線の連続立体交差化の検討

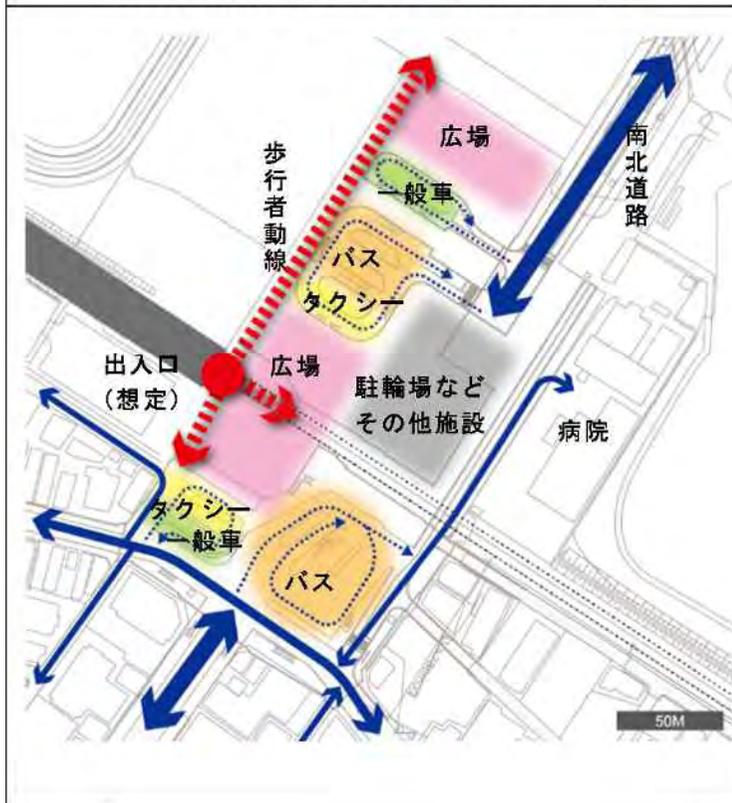
小田急多摩線の具体的な計画

2 相模原駅周辺地区整備計画

駅前空間 機能配置パターン

JR横浜線の連続立体交差化の検討にあわせた駅前空間の機能配置パターンは、以下のとおりです。

駅南北が独立したパターン



特徴

- 各広場機能をバランス良く配置することができます。
- 歩行者・自転車の回遊性が高まります。

駅南北が一体となったパターン



特徴

- 南北の自動車通行が可能となり、南北の連携が強化されます。
- 歩行者・自転車の回遊性が高まります。

2 相模原駅周辺地区整備計画

段階的な整備

ア 短期…駅北口地区へのアクセス道路の暫定整備 ・駅前広場の暫定整備[Ⅰ期]

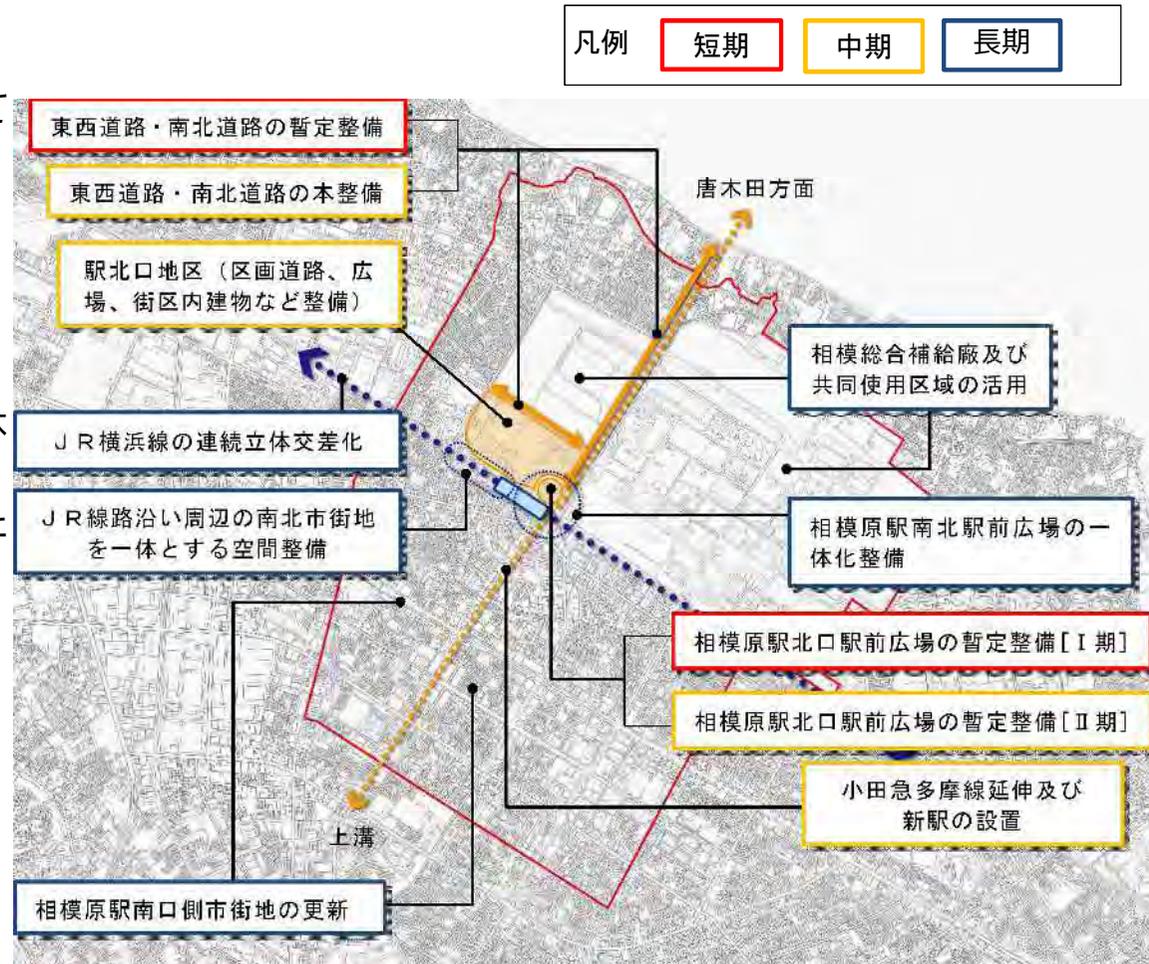
- 東西道路・南北道路(2車線にて暫定整備)
- 相模原駅北口駅前広場(南北道路との接続部分について暫定整備)

イ 中期(H39年を目途) …小田急多摩線の延伸、駅北口地区へのアクセス道路の本整備、駅前広場の暫定整備[Ⅱ期]

- 東西道路・南北道路(4車線にて本整備)
- 小田急多摩線延伸及び新駅の設置(まちづくりの中で主体的に整備)
- 相模原駅北口駅前広場(小田急多摩線の延伸に向けた暫定整備)
- 駅北口地区(区画道路、広場、街区内建物などを整備)

ウ 長期(H57年を目途) …JR 横浜線連続立体交差化完了と相模総合補給廠全面返還を見据えたまちづくり、駅前広場の本整備

- JR横浜線の連続立体交差化
- JR線路沿い周辺の南北市街地を一体とする空間整備
- 南北駅前広場の一体化整備
- 相模総合補給廠及び共同使用区域の活用(返還のための協議などを含む。)
- 南側市街地の更新



2 相模原駅周辺地区整備計画

都市の将来イメージ

都市の将来イメージは下図のとおり。施設配置や高さなどは検討中であり、今後変更の可能性がある。



※この図は、平成39年のリニア中央新幹線の開業時点を示すものではなく、駅北口地区の将来のまちづくりのイメージを示したものです。

3 広域交流拠点特設サイトについて

広域交流拠点特設サイト

広域交流拠点（橋本・相模原駅両周辺地区）のまちづくりに関する検討状況などをご覧いただくことができます。



「相模原市 広域交流拠点 整備計画」で検索できます。

お問い合わせ先

相模原市都市建設局広域交流拠点推進部

リニア駅周辺まちづくり課

相模原駅周辺まちづくり課

電話 042-707-7047

042-707-7026

FAX 042-754-8490

042-754-8490

メールアドレス:

linear-ma@city.sagamihara.kanagawa.jp sagamiharast-ma@city.sagamihara.kanagawa.jp

4 パブリックコメントについて

パブリックコメント

The screenshot shows the website for Sagami City. At the top left is the city logo and name. To the right are navigation options for text size (縮小, 元に戻す, 拡大) and background color (A, A, A, A). Below that are language links: English, 简体中文, 한국어, 日本語. A search bar with a magnifying glass icon and the text '検索' is present, along with a link for '検索の使い方'. A horizontal menu contains: トップページ, 暮らしの情報, 市政情報, 観光・文化, 産業・ビジネス, 施設マップ. Below the menu, the current location is indicated: 現在の位置 : トップページ > 市政情報 > 市政への参加・連携 > パブリックコメント～あなたの意見を市政に！！～. The main content area has a green header for 'パブリックコメント～あなたの意見を市政に！！～'. Below this is a '募集案件' section with three items: 相模原市都市計画マスタープラン一部改定版(広域交流拠点編)(案)について, 相模原市総合都市交通計画一部改定版(案)について, and 相模原市広域交流拠点整備計画(案)について. On the left side, there is a sidebar with '市政情報' and '市政への参加・連携' sections, with 'パブリックコメント～' listed as an option.

上記「相模原市ホームページ」、各区行政資料コーナー・まちづくりセンター・出張所・公民館・図書館等で整備計画(案)などをご覧いただけます。